

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				「人間尊重」を大切に考え、ケア提供に従事している。	利用者本人、家族から「よくしてもらい助かっている」と聞く。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				管理者は研修等にて学び、定期的なカンファレンスにて全職員に対し周知、指導をしている。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			研修制度、オペレーターマニュアルあり。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			分かりやすい手順書の作成。情報の適宜更新を行う事で、同一のケア対応が可能となるよう配慮している。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			社内の共有スレッド。連絡ノート等。様々な情報共有ツールを活用している。	
(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			利用者様、家族様の要望をしっかりと聞き取り、ケア計画。工程作成を行っている。	できている
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている		○			指摘事項を含め、全職員にて情報の共有。より良いサービス提供に向けカンファレンス等にて協議している。	

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				連絡手順を十分に確認し、遅滞なく連絡・報告が可能となるようファイル作成を行っている。	
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				防災訓練マニュアルの作成、閲覧環境の整備。	
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				定期的な研修事項、不用意な持ち出し等を禁止。携帯電話の取り扱いにも十分な注意をしている。	

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				定期的な情報収集を行う事で、適切なスケジュールでの支援対応を実施している。(適切な排泄支援や通所の送迎時間変更時含む)	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				初回サービス導入時、毎月の報告内容を含め、管理者にて確認。職員全体にて共有している。	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				適切なアセスメントを行い、心身状況の変化に合わせて柔軟に対応している。自立支援の観点では重視している	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			計画書作成時、担当者会議等にて「希望する未来」についての聞き取りを心がけている。	

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			緊急コール、内服薬変更時等、必要回数や援助内容の項目を柔軟に変化させている。	何かあった場合、柔軟な対応をしていると存じます。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			体調変化等については特記事項に都度記載(入力)を行い、適切な報告、サービス内容の調整を行っている。	利用者の変化等に気づき連絡報告が早いと思われる。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている		○			適宜情報の共有を行う事、申し送りノート等を活用し、食事量、水分量等の必要な情報の共有に努めている。	SOMPOケア若木さんと徳丸さんで連絡を取り合っている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			排泄援助時間、口腔ケア内容等、感染予防に努めている。	

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			契約時わかりやすい説明を心がけている。根拠に基づいた支援提供であることを十分にお伝えしている。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		○			専門用語を多用しないよう、認識の相違が発生しないよう努めている。	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている		○			連絡ノート等を提案する事で、サービス提供内容、心身状況変化の共有に努めている。	報告、相談が適時行われていると思います。

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント								
(1) 共同ケアマネジメントの実践								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				電話、FAX等を活用し遅滞ない報告を心がけている。	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				適切な介護度の提案・自費サービスの提案、社会資源の提案を心がけていきます。	利用者の変化に応じた提案をされています。
	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				可能な限り参加可能となるよう調整しております。	医療(医師・看護)福祉用具等への情報提供ができています。
利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)			○		契約時に「自費サービス」の締結も行ってまいります。ご希望時に対応できるよう今後も対応してまいります。	自費サービスでどこまでできるか知っておきたいです。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			必要な情報提供のお手伝いを心がけております。退院時カンファレンスについても参加させて頂きます。	通院が始まる際に先方のクリニック等と積極的に連絡を取っていただいている。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				担当者会議には可能な限り参加し、情報の提供・共有に努めております。	

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○			いつでも閲覧可能となるようファイリング、データ保管をしております。		
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○		地域密着定期会議への参加、営業活動、自社HPにて周知活動継続中。		
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○		地域への提供範囲を拡充し、提供の為に職員体制を構築している。	できていると思います。	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている		○		サテライト事業所等を含め、一部のエリアのみの提供とならないよう留意している。	できていると思います。	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)		○		地域密着会議等への定期的な参加をしています。現段階は周知活動が主であり、今後の課題であります。		

2024年度 自己評価・外部評価 評価表(若木基幹・まとめ)

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	ほぼできている	できていないことが	全くできていない		
Ⅲ 結果評価 (Outcome)								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			毎月のモニタリング、担当者会議への参加にて多職種との情報共有にて目標達成を目指している。	細目に変化に気づいていると思います。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			可能な限り家族様からの感想・意見を聞き取ることで適切な評価を得る機会作りを目指している。	定期巡回を利用することにより利用者とその家族が安心して在宅生活を続けている。